いまばりロボット未来共創都市宣言

～瀬戸内クロステックゾーンの未来をロボットと拓く、挑戦のまち・今治～

　私たち今治市は、海事産業やタオル産業をはじめとする世界に誇るものづくりの伝統と技術を受け継ぎながら、新たな時代への挑戦を続けてきました。

　人口減少や人材不足、急速な技術革新など、地域産業を取り巻く環境に対応し、持続的な発展を実現するためには、人とロボットがそれぞれの強みを生かし、ともに新たな価値を創り出す共創社会の実現が必要です。

　そのため今治市は、未来を担う子どもたちから地域産業を支える社会人まで、ロボットやＡＩなどのデジタル技術を学び、活用できる人財の育成・集積を推進します。

　また、企業や教育機関、研究機関との連携のもと、ロボットに関する体験機会を創出し、現場ノウハウやデータによる検証・改善の循環を通して、ロボット導入を促進するとともに、地域全体を実証・実装フィールドとして活用し、新たな技術やサービスの社会実装を加速します。

　さらに、製造業等が有する豊富なデータや技術基盤を生かし、ロボット・主要部品・ＡＩモデルの開発や関連企業の集積を促すことで、新産業の創出とサプライチェーンの構築を進め、地域産業の競争力強化につなげます。

　これら三つを段階的に推進し、人とロボットが共創する持続可能な地域社会と産業都市の実現を目指します。

　ここに今治市は、「いまばりロボット未来共創都市宣言」を掲げ、「瀬戸内クロステックゾーンの未来をロボットと拓く、挑戦のまち・今治」の実現を目指し、人とロボットが共創する未来の創造に向け、挑戦し続けることをここに誓います。

２０２６年（令和８年）７月１５日

今治市長　徳永　繁樹